

犯罪被害者を支えるために

いのち

THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

# ゼロからの風 & 生命のメッセージ展

## 上映

入場  
無料



とき

10月16日

ところ

京都テルサ

●東館3階「大会議室」  
●西館3階「第2会議室」

### プログラム

【東館3階：大会議室】

●生命のメッセージ展：10:00～16:00

【西館3階：第2会議室】

●映画「0(ゼロ)からの風」上映  
田中 好子さん 主演  
1回目:10:30～12:20 2回目:13:30～15:20

2回の上映はいずれも  
先着  
80名

●講演

鈴木 共子氏

(「生命のメッセージ展」の代表を務め、映画「0(ゼロ)からの風」の主人公のモデルになっている方です。)

1回目:12:30～13:00 2回目:15:30～16:00

### 交通のご案内



- JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
- 市バス九条車庫すぐ(南隣)

主催：京都府、京都市、京都府警察本部、特定非営利活動法人いのちのミュージアム、(公社)京都犯罪被害者支援センター、京都府犯罪被害者支援連絡協議会

後援：内閣府、国土交通省、文部科学省、京都新聞社、NHK京都放送局、KBS京都

お問い合わせ先

- 京都府安心・安全まちづくり推進課 TEL075-414-5076
- 京都市くらし安全推進課 TEL075-366-1366
- 京都府警察本部犯罪被害者支援室 TEL075-451-9111(内線2672)

いのち

THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

# 生命のメッセージ展

入場  
無料

つなぐれ つなぐれ いのち



## 「生命(いのち)のメッセージ展」とは

殺人・悪質な交通事犯・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

「命の重さ、尊さ」を訴え、犯罪のない社会を創造し、未来の命を守る事を目的としています。犠牲者の発する声亡きメッセージを受け止めてくださる来場者も又主役なのです。

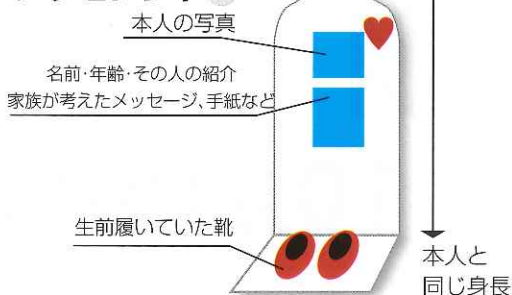


後援：内閣府・文部科学省

## メッセージとは

犠牲者の等身大の人型パネルです。生前の写真とメッセージ文を添え、足元に遺品の「靴」(足跡=生きた証)を置いています。無念にも命を喪い、生きたくても生きられなかった犠牲者からの「未来につながる命」を守るためのメッセージを聞いて、感じてください。

### メッセージ



## 映画「0(ゼロ)からの風」

©Will Do



19歳のひとり息子を、無免許、飲酒運転、車検切れの暴走車にはねられて喪った母親が、「命の重さ」を法律の中に反映させて欲しいと、「悪質な交通事犯の厳罰化」を求めて奔走した実話を基にした映画です。田中好子さん演じる主人公は、「生命のメッセージ展」代表を務める鈴木共子さんがモデルです。

映画の中では「生命のメッセージ展」のシーンが登場し、メッセージ展全員の名前が出演者として紹介されていますので、最後のエンドロールまでご鑑賞ください。

国土交通省後援

supported by 寄付プロジェクト 夢の貯金箱

上映・講演・メッセージ展の開催についてのご質問は office@inochi-museum.or.jp までご連絡下さい。

## 鈴木共子氏のプロフィール

神奈川県生まれ、造形作家。  
生命のメッセージ展代表、2009年6月より特定非営利活動法人いのちのミュージアム代表理事を兼務。  
一般市民による初の法改正となった「危険運転致死傷罪」の新設に尽力。アートを通していのちの尊さを伝え続けている。

京都テルサで  
同時開催!

## 京都ヒューマンフェスタ2011

間 寛平トークショー、それいけ!アンパンマンショー、人権問題に取り組むNPO活動発表、ユニバーサルデザイン体験コーナー、人権相談コーナー、犯罪被害者相談コーナーなど

平成23年度犯罪被害者等支援スローガン

「さしのべる 手と手で繋ぐ 支援の輪」